

入札監理小委員会における審議の結果報告 第四期 RIETI PC-LAN サービスの調達

独立行政法人 経済産業研究所が実施する「第四期 RIETI PC-LAN サービスの調達」については、公共サービス改革基本方針（別表）において、平成 28 年 4 月より民間競争入札による業務を実施することとされている。

当該民間競争入札実施要項（案）を入札監理小委員会で審議したので、その結果（主な論点と対応）を以下のとおり報告する。

1 第四期 RIETI PC-LAN サービスを実施する者を決定するための評価の基準その他本業務を実施する者の決定に関する事項

【論点】

特殊な開発案件ではないので、総合評価での価格点と技術点の配分は 1 : 1 で良いのではないか。

【対応】（PP11）

指摘を踏まえ、価格点と技術点の配分に関して試算し、価格点と技術点の配分を 1 : 1 にした場合でも技術評価が充分可能であることを確認し、配分を 1 : 1 に変更した。

2 総合評価基準書の記載について

【論点】

- ① 評価基準の項目が多く、細かすぎるのでわかりづらい。どの項目を重視しているのかがわかりやすくなるよう、評価基準を見直すべきではないか。
- ② 「作業体制と業務従事者に求める要件」のところで、独立行政法人や官公庁等の実績を例示しているが、この書きぶりでは官公庁等での実績がないと難しく見えてしまう。民間での実績でも評価することがわかるように、表現を改めるべきではないか。

【対応】（PP139～PP141）

《指摘①について》

指摘を踏まえ、評価項目の見直しを行い項目数 182（内必須 154・任意 28）から項目数 65（内必須 40・任意 25）に減らし、総合評価基準書を修正いたしました。また、配点の見直しに伴い実施要項を修正した。

《指摘②について》

上記①の修正にあわせ当該項目を削除し、実績評価については民間・官公庁等の区別なく評価することが解るように文面を変更した。

3 従来の実施状況に関する情報の開示

【論点】

現行の受託民間事業者以外の者が業務内容を理解し、入札額を見積もるために必要な情報が適切に開示されているか。

①インフラ及びサービスデザイン構築時に現行請負者の設計書やノウハウ等が正しく開示できるか。

②大量データ移行に伴う調達であるが、データ量やデータの形式が正しく開示できるか。

【対応】（修正なし）

《指摘①について》

入札参加証明書を提出した者に対しては、現行システムの機器・ネットワーク・ソフトウェア構成等に係る資料を配布する。（別添調達仕様書（PP136、PP137）の13．情報公開に記載の参考資料として）

また、別紙提案書作成要領（PP 154）に記載のとおり、希望者には現行システムの基本設計書等のドキュメント閲覧を許可する。

《指摘②について》

上記、情報公開に記載した参考資料1、4、7に、クライアントPCのデータ保存容量、ファイルサーバ上のディスク使用量、GoogleApps上の保有データ量をそれぞれ追記する。

また、データの形式については、参考資料の該当箇所にデータ形式や導入ソフトウェア情報を開示する。

4. 意見募集の結果報告

- ・平成27年7月29日～8月20日（20日間）までの意見募集期間に9者から107件の意見が寄せられた。（うち1者は現行請負業者）
- ・意見は実施要項部分からの1件以外、全て調達仕様書からであり、テクニカルな質問が大半を占めた。「引継ぎに関する費用負担の明確化」などの必要な修正を行った。（PP5）
- ・過去10年同一事業者が実施してきた業務であるが、意見内容からは複数応札、ベンダーリプレイス共に期待できる内容であり、入札説明会でのきめ細かな対応を要望するところである。

以上